



# レバーを用いた過酸化水素水の分解反応

## 準備するもの

- 触媒** 豚レバー（ジャガイモ、二酸化マンガンでも代用可能）
- 薬品** 30% 過酸化水素水
- 器具** 広口三角フラスコ、滴下ロート、集気びん、ゴム栓、クランプ、角ムッフ、三角支持台、水槽、ガラス管、線香

## 実験手順

1. 豚レバー（またはジャガイモ、二酸化マンガン）をよくすりつぶす。
2. 三角フラスコにそれぞれ豚レバー、（またはジャガイモ、二酸化マンガン）を入れ、図のような実験装置を組み立てる。
3. 滴下ロートから 6% 程度に調整した過酸化水素水を徐々に加える。
4. 水を満たした集気びんにて発生したガスを水上置換法により捕集する。
5. 集気びんには水が残った状態で、水中でふたをする。
6. 火をつけた線香を集気びんに入れ、空気中よりも激しく燃える（あるいは変化の無い）ことを確認する。

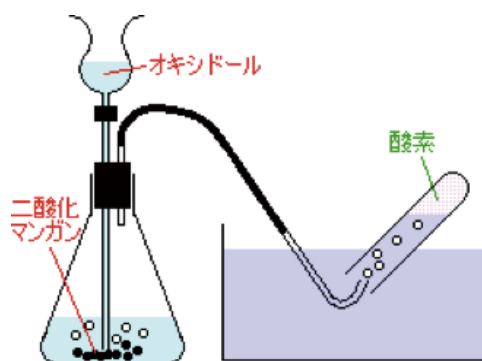


図 過酸化水素分解実験装置

